

(様式1)

県立高等学校重点校制度に係る事業計画書

学校名 倉吉総合産業高等学校

重点項目	専門人材育成重点校	提出日	令和3年2月15日
------	-----------	-----	-----------

1 学校目標
将来職業人として地域で活躍し、地域に貢献できる人材を育成することを目標として、専門分野に関する学習や資格取得、部活動との両立、進路の実現等に日々努力している。また、地域との交流の中で、コミュニケーション能力や豊かな人間性の育成にも努めている。
2 重点項目に係る目標
<ul style="list-style-type: none">・一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育成する。・専門教育を推進することで、技能を高め、地元企業に求められる人材を育成する。・各分野に優れた知識や技能をもつ社会人講師・大学教員を活用することにより、生徒の学習意欲の向上を図り、職業観、勤労観を育成する。・専門的な知識、技能、職見を有す地域の社会人を講師として招聘し、ショップ経営のノウハウを身に付けさせ、ビジネスに必要な業務を、合理的に行う能力を育成する。・職業体験をとおして職業や将来設計について考えさせ、主体的な職業選択能力や職業意識を育成するとともに、挨拶・言葉遣い・礼儀・マナーなどを学びコミュニケーション能力を高める。また、地元企業を見学し、進路選択における判断材料とする。・地域と連携した課題研究を実施し、地域との関わり合いを持ちながら、社会の変化に対応できる企画能力や実践能力を育成する。・教員が実際に企業を訪問したり、企業で研修することで指導力向上を図る。 <p><数値目標></p> <p>年内就職内定 100% (R2…100% R1…99% H30…99%)</p> <p>卒業1年後の離職率 8% 以下(H31.3 卒…15.5% H30.3 卒…8.20% H29.3 卒…9.90%)</p> <p>資格取得</p> <p>技能検定機械加工普通旋盤作業3級 10名程度(R1…14名 H30…6名 H29…3名)</p> <p>第1種電気工事士 15名以上(R1…18名 H30…5名 H29…12名)</p> <p>全商簿記実務検定1級 20名以上(R1…12名 H30…25名 H29…20名)</p> <p>家庭科技術検定1級3種目合格 10名以上(R1…3名 H30…5名 H29…2名)</p> <p>推薦・一般入学者選抜における各科の募集定員の充足。</p> <p>R2…機械5 電気9 生活4 H31…電気2 ビジネス3 生活2 H30…機械3 電気8 H29…不足なし</p>
3 事業計画(事業名、事業概要)

【高等学校課事業】

・土曜授業等実施事業

チャレンジショップ「くらそうや」

…チャレンジショップ「くらそうや」の充実と、ショップ経営のノウハウを身に付けさせるため、専門的な知識、技能、職見を有される地域の社会人を招聘し学習する。

・外部人材活用事業

社会人講師活用事業（各科及び芸術科）

…工業・調理・音楽などで優れた技能を持つ社会人を講師に招き、その技術や知識を学ぶ。

大学教員の教員交流事業（電気科）

…鳥取大学工学部の教授等を講師に招き、電気科の生徒が最先端の研究について学ぶ。

・キャリア塾

進路講演会（各学年）

…外部講師を招き、進学・就職に関する講演を行う。

先輩に学ぶ

…科ごとに社会で活躍する卒業生を招き、仕事に関する話やアドバイスを聞く。

【学校独自事業】

・進路指導充実事業

資格取得の推進

…資格試験関連図書・問題集や、資格を活かした職業に関する書籍を図書館に整備し、学習に使いやすい図書館として、広く教職員・生徒の利用に供することで、生徒の資格取得の促進・指導の充実につなげる。

・職業観・勤労観の育成事業

インターンシップの推進（機械科・電気科・生活デザイン科）

…2年生が3日間の職場体験を行い、進路目標をより明確なものにする。

インターンシップ・ビジネス実習の充実（ビジネス科）

…2年生が夏・冬の2回、計10日間の職場体験を行い、進路目標をより明確なものにするとともに、人間面での成長を図る。

長期インターンシップの推進（電気科）

…電気科2年生の希望者が、夏季休業中に約10日間の現場実習を行い、高度な専門知識・技術の習得を目指す。

地元企業を知る企業見学

…機械科と生活デザイン科の生徒が、地元企業を見学し、求人票では分からない産業現場の状況を知ることと、企業が求める人材はどのようなものかを知り、進路選択における判断材料とする。

地元企業を知る企業招聘事業

…地元企業を本校に招聘し、複数の地元企業の状況や各企業が求める人材はどのようなものかを知り、進路選択における判断材料とする。

県外企業研修

(様式1)

…2年生の研修旅行で科ごとに企業を訪問し、地域産業と世界のつながりを理解する。

安全教育

…県労働基準協会から講師を招き、安全衛生管理について学ぶ。

・地域との交流支援事業

チャレンジショップ「くらそうや」、くらそうサロン、くらそうビジネスセミナー

…ビジネス科3年生が3つのグループに分かれ、課題研究の時間を使って、「商品の仕入れ・販売」「高齢者との交流」「中学生体験入学での模擬授業」等を行い、地域との交流を深める。

・福祉活動支援事業

高齢者家庭との交流

…3年間学んだ知識や技術を地域の高齢者宅で電気器具の修理や清掃に活かし、応用学習・総合学習として地域と連携して実践することにより生徒に達成感を与え、学習意欲の向上につなげる。

空飛ぶ車いすの活動

…日本で不要になった車椅子を高校生が修理をしてアジア諸国へ届ける活動で、実践的な学習をとおして生徒達に「ものの大切さ」と「奉仕の精神」等を学ばせる。

福祉施設体験活動の充実

…多くの交流やレクリエーションをとおし、正しい倫理観・道徳観などのものの見方、考え方、感じ方を知り、他人を思いやる誠実で心豊かな人間性を育てる。

・スクールプロジェクト

実習棟公開

…学校祭に合わせて各学科の学習成果を全科がそれぞれの会場で公開し、保護者や地域との連携を図り、開かれた学校づくりを一層推進する。

課題研究発表会の充実

…各学科の発表会に、大学教授や有識者を指導助言者として招聘し、指導助言により、生徒の研究に対する意識の向上と教員の指導力を高める。

・ものづくり支援事業

マイコンカーの製作

…全国大会を目指しながら、計画的に物事を進める力を身に付ける。

普通旋盤作業における技能指導

…技能士の指導を受けながら、技能検定3級の合格を目指す。

電気工事についての技能指導

…電業協会中部支部の指導を受けながら、ものづくりコンテスト県大会・中国大会での好成績を目指す。

※枚数任意